

たいとうアイデアソン2024

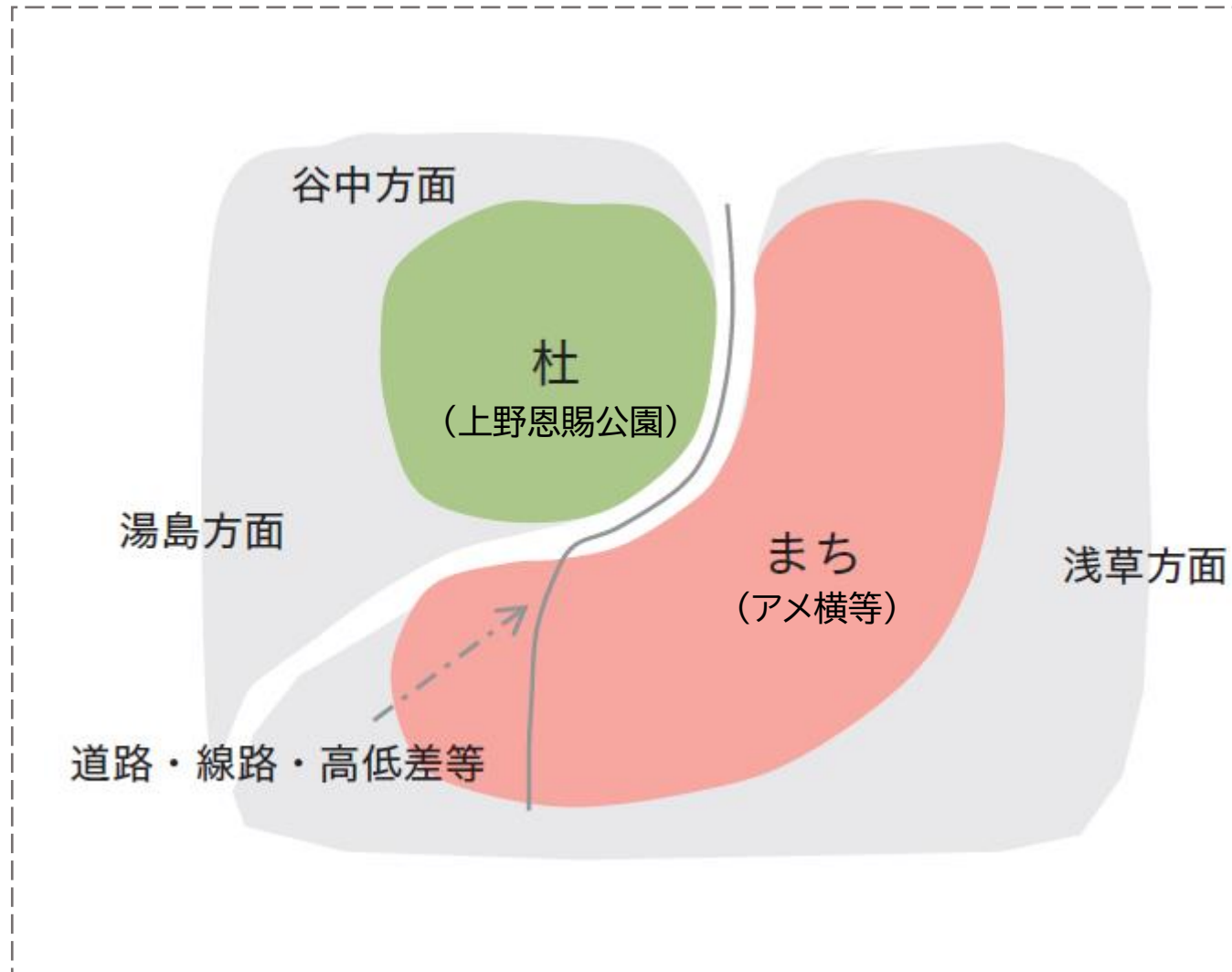
上野ウォーカブルまちづくり 杜とまちの回遊性向上に向けて

台東区

都市づくり部地域整備第一課

上野の現状

杜(上野恩賜公園)とまち(アメ横等)のつながりが
物理的にも心理的にも希薄



●物理的な構造(道路・線路・高低差等)



上野恩賜公園の崖線



首都高速1号線と昭和通り

●複雑な都市基盤



JR上野駅前の現況



杜とまちをつなぐパンタ橋

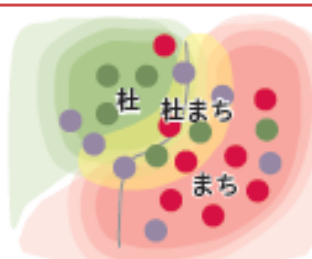
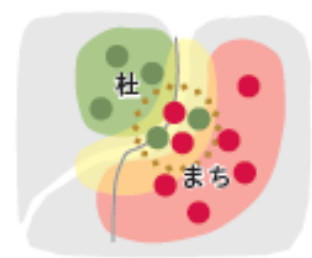
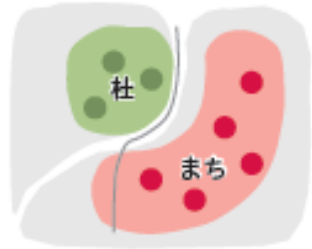
3 上野の将来像

(2) 上野の将来像

杜の文化とまちの賑わいが 共演する舞台“上野”

～世界の粋・東京の粋～

粋がもたらす人々の体験・感動・
営みが、さらなる粋を生み、文化・
芸術が無限に成長するまち



杜が世界に誇る文化・芸術資源
(世界の粋)を極めている

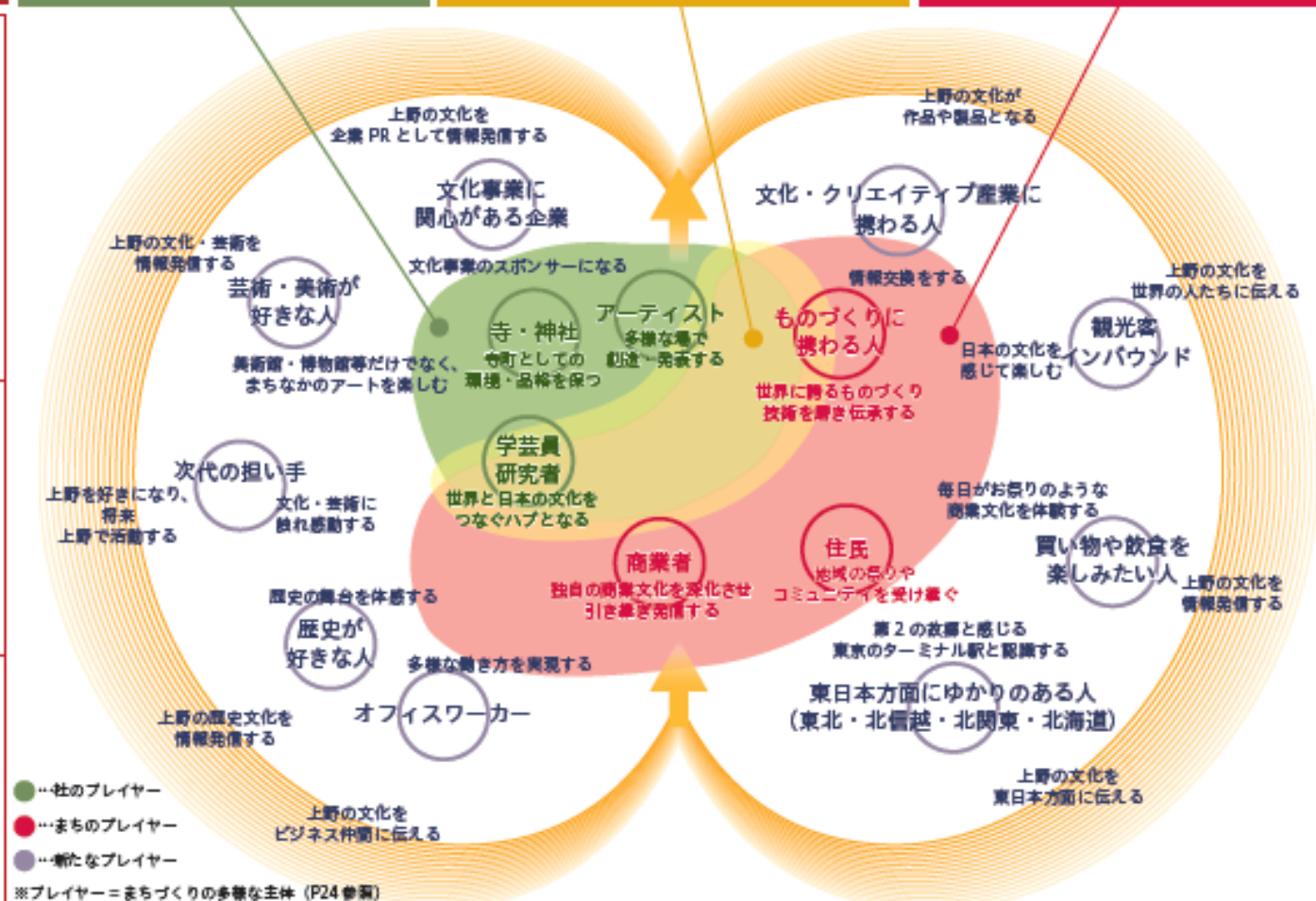
- ・杜をこえた多様な場で人々と関わりながら、文化・芸術が創造・表現されている
- ・世界の文化・芸術の交流の拠点になっている
- ・寛永寺とその門前町という関係性を活かし、寺町としての魅力が向上している

杜とまちとそのつながりが、世界中の人々を惹きつけ、
そこでの体験・感動・営みが新たな粋を生んでいる

- ・世界中の人々が、杜とまち全体を見渡し、自由に行き交い、体験・感動している
- ・杜とまちでの体験・感動が世界中に発信され、惹かれた人々が次々に上野を訪れている
- ・杜とまちでの体験・感動をきっかけに、惹かれた人々が上野で新たな営みをはじめている

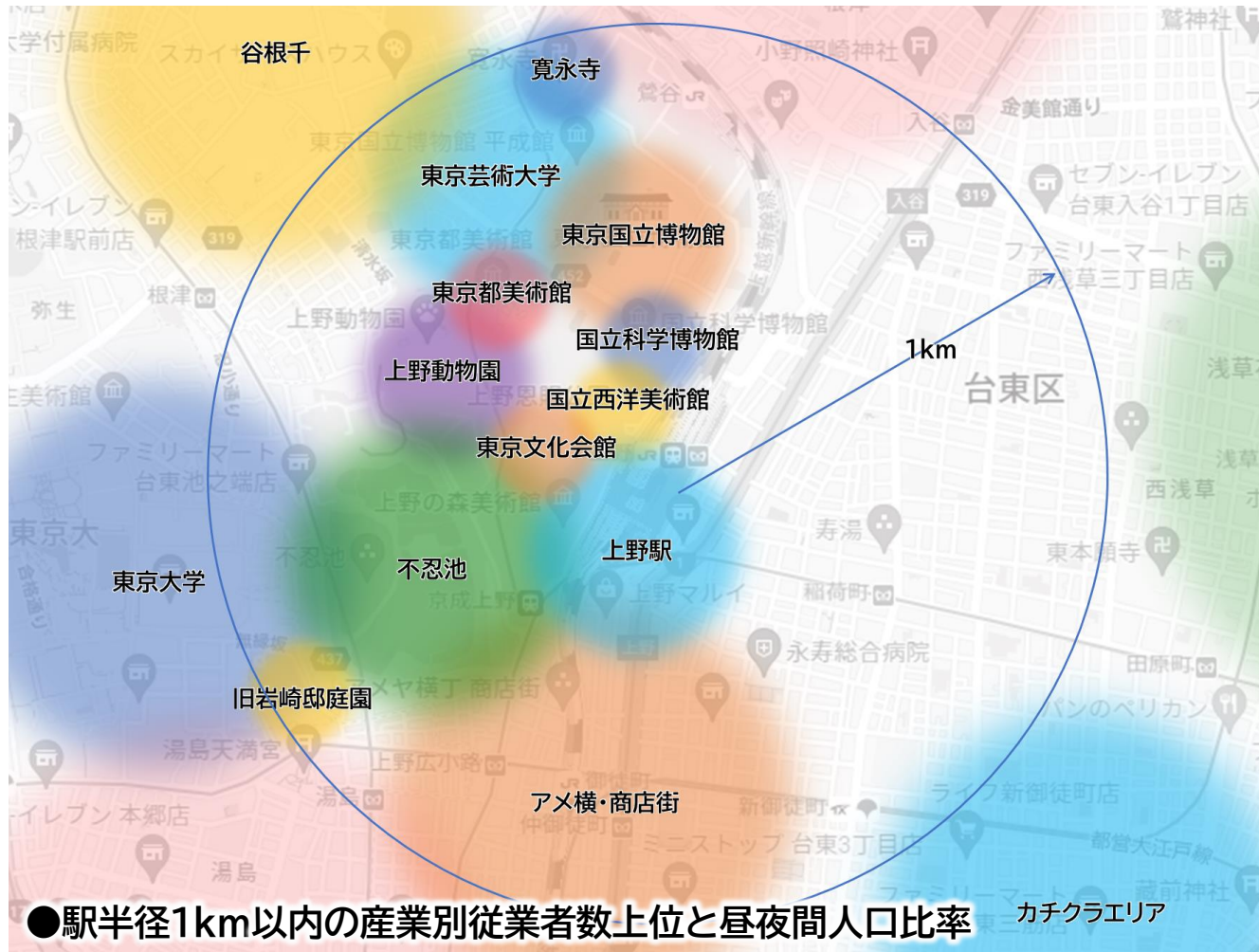
まちが、多様で特色ある文化・歴史資源
(東京の粋)を包摂している

- ・誰もが豊かさを感じながら、多様なことを受け入れ包摂(インクルージョン)している
- ・時代を超えて、個性ある商業文化が、独自の発展を遂げ続けている
- ・日本を代表するものづくり技術が、新しい世代に伝承され、新たな価値が創造・発信されている
- ・地域の祭り等の伝統行事や生活が、新たな世代や住民に受け継がれ洗練されている



上野駅

出典: まちづくり推進部会資料(令和4年7月)



- | | |
|----|-------------|
| 1位 | 卸売業・小売業 |
| 2位 | 宿泊業・飲食サービス業 |
| 3位 | 教育, 学習支援業 |
| 4位 | サービス業 |
| 5位 | 医療, 福祉 |

昼夜間人口比率 **228%**

昼間人口: 156,629人 / 常住人口: 68,596人
(出典: 平成27年国勢調査)



谷根千
ソーホー
／NY

寛永寺
ウェストミンスター寺院

／ロンドン
東京芸術大学

ロイヤル・カレッジ・オブ・アーツ／ロンドン
東京国立博物館

上野の個性・特長

上野動物園
国立科学博物館

国立西洋美術館

東京文化会館

1km

駅半径1kmに世界に比肩する多様なポテンシャルが

東京大学
ケンブリッジ大学
／ケンブリッジ

凝縮したモザイク都市

旧岩崎邸庭園

アメ横・商店街
夜市／台北

カチクラエリア

【ハード】まちの多様性を体感・享受できる空間や活用の視点とは

上野駅周辺の物理的な現況

人が歩いてもいいと感じる
距離は300m程度である
(建築設計資料集成)



入谷通り



上野公園通り

スポットが広大なエリアに点在している(間の距離が長い)
杜とまちの間に地形的な断絶がある

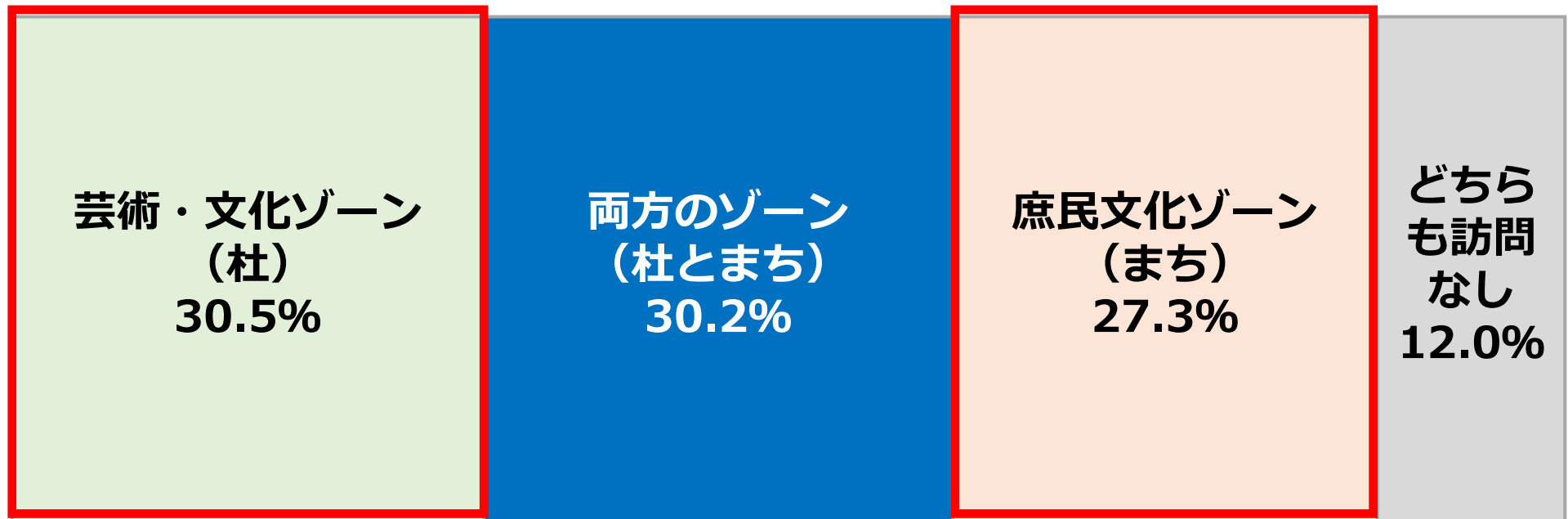
【ハード】まちの多様性を体感・享受できる空間や活用の視点とは

杜(上野恩賜公園側)とまち(アメ横側)にどの程度人がきているのか？

➡上野地区まちづくりブランディング調査(平成30年度)

上野に来る人のうち、全体の3分の2の来街者が
杜とまちのどちらかにしか訪れていない

Q.最後に上野に来訪した際、どのエリアを回りましたか。



全体 (n=904)

上野の来街者はどう移動しているのか？

➡上野駅周辺歩行者回遊行動調査(平成30年度)

上野駅公園口発のログ密度※(n=81)
杜側を目的地としている可能性が高い

- 上野動物園、竹の台広場、東京都美術館、商店街の密度が高い
- 上野公園通りが杜まち間の通り道になりやすい様子がうかがえる
- まち側では、上野駅に近い商店街エリアを訪れている

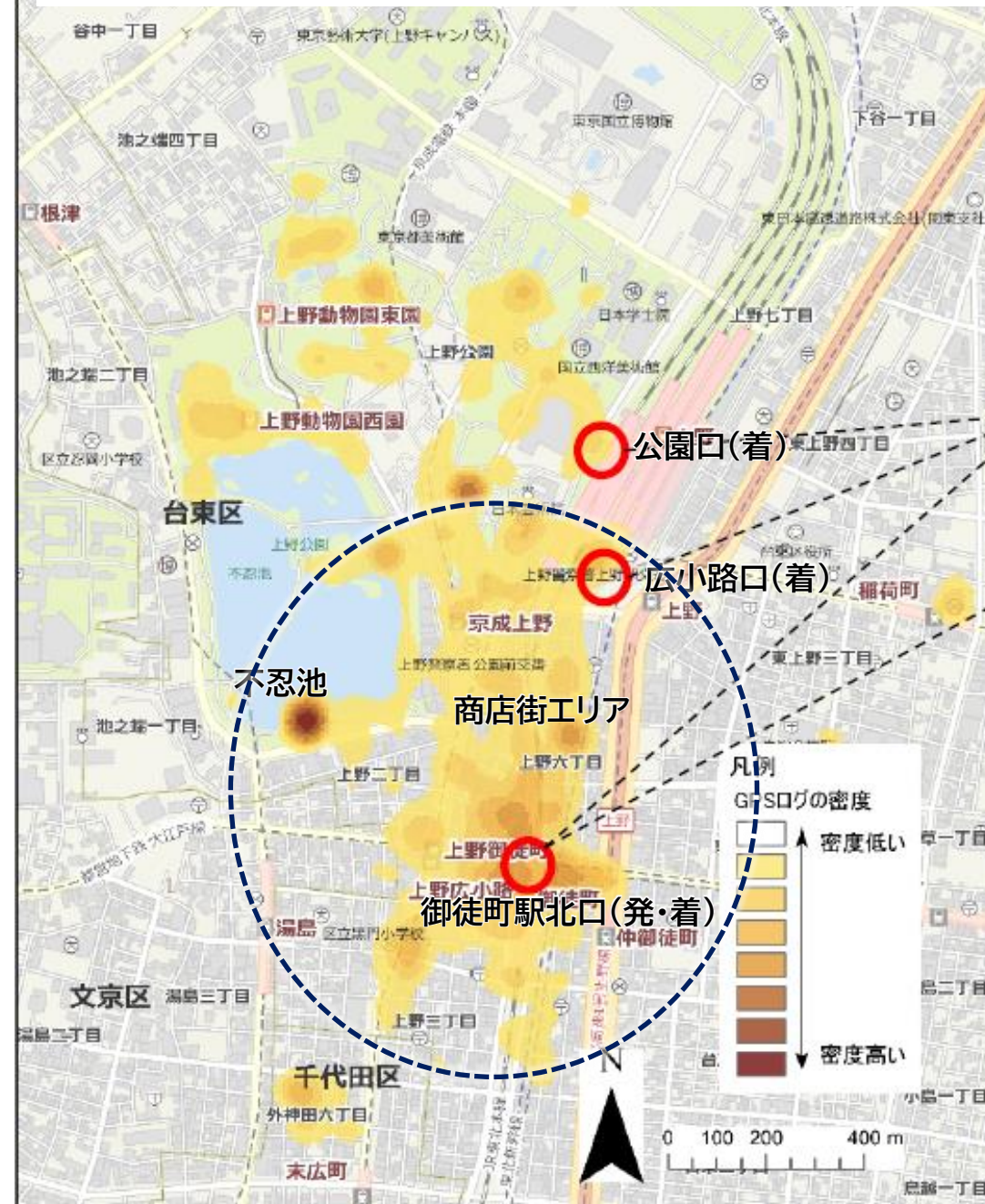
※ログ密度
来街者(被験者)の位置情報の集積(0.15秒ごとにプロット)

上野の来街者はどう移動しているのか？

➡上野駅周辺歩行者回遊行動調査(平成30年度)

御徒町駅北口発のログ密度※ (n=43)
まち側を目的地としている可能性が高い

- 不忍池、アメ横等商店街エリア、中央通りの密度が高い
- 公園側の密度は高くない



※ログ密度
来街者(被験者)の位置情報の集積(0.15秒ごとにプロット)

【ハード】まちの多様性を体感・享受できる空間や活用の視点とは

結果の分析:

- エリアが広く、高低差がある
- 来街者の3分の2が杜まちの片側にしか行っていない
- 杜を出発点とすると主に杜側、まちを出発点とすると主にまち側、にしか訪れない傾向がある
- 上野公園通りが現在の杜まちをつなぐ主要な移動ルートとなっている

目的:杜まちの回遊性向上を目指して

原因(仮説):

現状、杜側とまち側の集客装置(スポット)に高低差・距離があり、回遊するには一定の心理的・物理的ハードルがある

戦略:

歩行がストレスに感じないような、視線の抜け、間をつなげる魅力的なスポットや休憩スポット、歩行アシスト機能等によって、まちに広がるスポットをネットワークさせる戦略が必要

多様なまちのイメージを空間として具体化する方法論とは

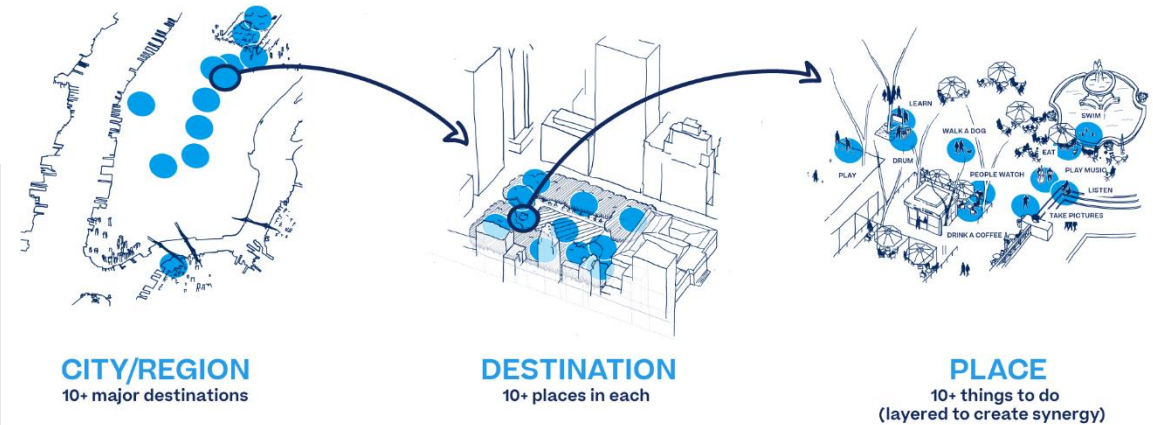
世界の都市づくりの潮流／プレイスメイキング

The Power of 10+

どのような規模の都市も、最低10か所の目的地が連続的に近接しているべきであり、各目的地はより小さな10の場所によって構成されるべきである。

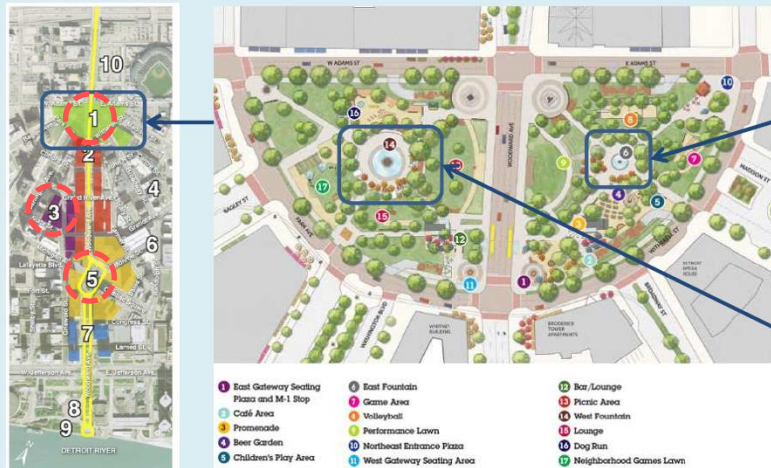
そして、各場所は人びとが携わる事ができる活動や行為を最低10個は提供すべきである。

(世界のプレイスメイキングをリードするアメリカの非営利団体「Project for Public Spaces(PPS)」により提唱されている)



都市の中に魅力的な居場所を複数“創り”“つなげる”エリア戦略

デトロイト市における「Power of 10+」の適用



East Fountain (左図⑥)



West Fountain (左図⑫)

Grand Circus Park (左図1)

<駅前等のエリア>

<エリアの中の目的地>

<目的地の中の「場所」>

- 理想的なエリアは、ひとつなぎの目的地が立地しているべきである。
- デトロイトでは特に周辺にインパクトを与える公共空間として①③⑤に着目し、“アンカー”としてアクティビティの創出やコンテンツ創造に注力している。(PPSがデトロイト市のThe Power of 10+のまちづくり計画を作成)



①Grand Circus

⑤Campus Martius/Cadillac Square



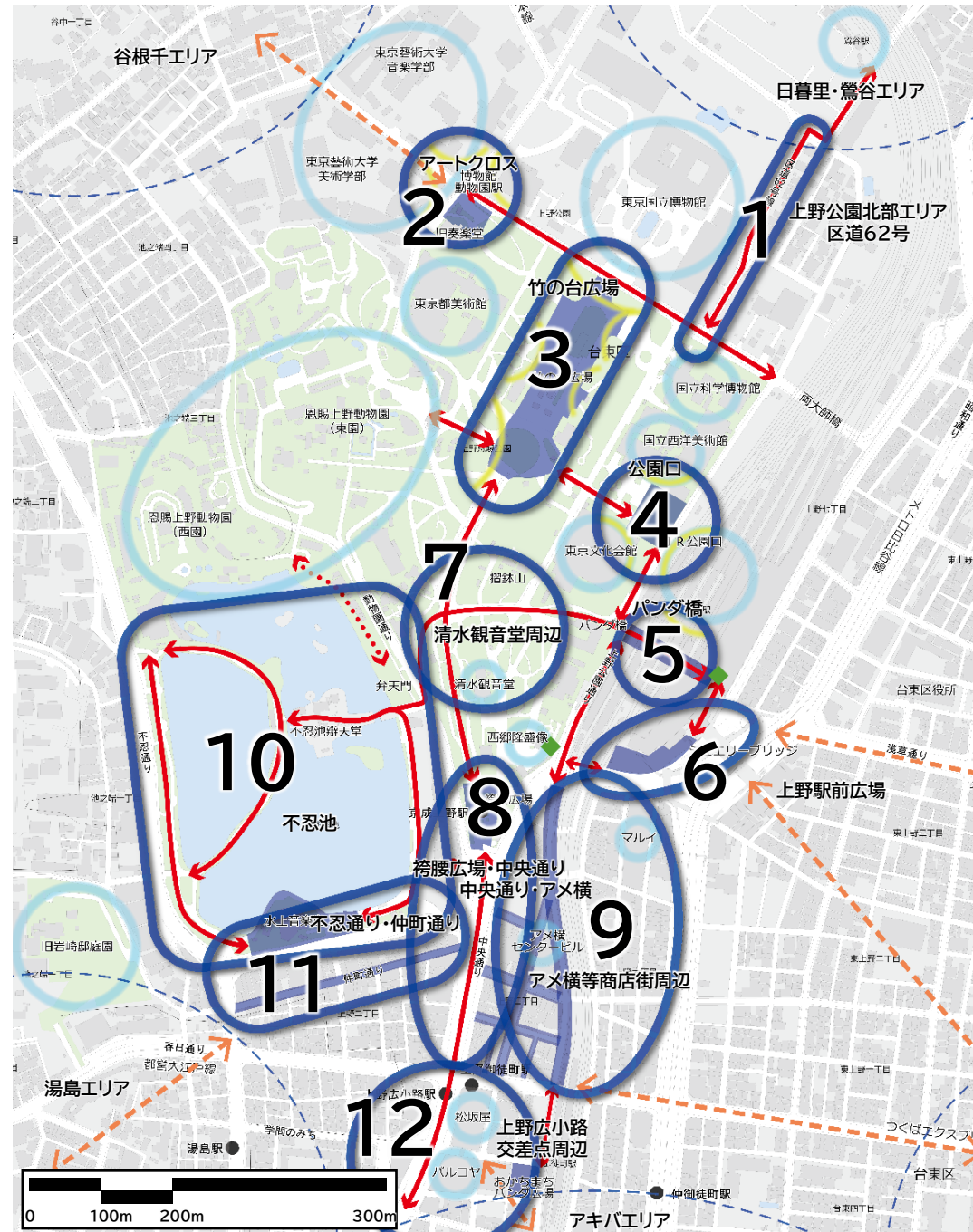
③Capitol Park

【ハード】まちの多様性を体感・享受できる空間や活用の視点とは

戦略(案)

杜とまちの回遊を生みだす
ターゲット10+

- 上野駅周辺の杜・まちの回遊性向上に向けて、特に注力して魅力化すべきスポットとネットワークを抽出
- 各スポットや後背地への回遊のモデルルートとしての『杜まち回廊』を位置づけ



1 上野公園北部エリア・区道62号線

令和6年度 社会実験実施



根岸方面との結節点

- 上野恩賜公園の北側に位置するエリアを、自動車優先から歩車共存・歩行者優先に変えていくことで、安心して歩くことができる空間を目指している
- 上野恩賜公園と鶯谷駅南口をつなぐ区道62号線を歩きやすい・歩きたくなる空間への変更を目指している

2 アートクロス整備

令和6年度竣工予定



谷中方面との結節点

- 上野恩賜公園と谷中方面の間に位置し、旧東京音楽学校奏楽堂・旧博物館動物園駅・東京藝大等が立地する“アートクロス”において、「憩い・滞留」できる空間が創出される

整備提案：上野文化の杜新構想実行委員会

5 パンダ橋

令和4年度～ 社会実験実施



杜とまちの結節点

- 杜とまちの間に位置するパンタ橋について、社会実験を通して様々な方に認知してもらい、行きたくなる・滞在したくなる拠点づくりを目指している

社会実験主催: JR東日本 共催: 台東区

8 中央通り・袴腰広場

令和5年度～ 社会実験実施



杜とまちの結節点

- 杜・駅とまちの間に位置する中央通りについて、社会実験を通して歩行者優先から歩車共存・歩行者優先の空間づくりを検討している

社会実験主催: 上野まちづくり協議会 共催: 台東区

今後の展望

2040 年代頃のビジョンの将来像実現に向けて、短期・中期・長期の大きなスケジュール目標を設定の上、まちづくりを推進する

- 短期（2020 年代）…ビジョンの実現・事業化に向けた推進体制の構築や事業化検討の深度化、イベント等のソフト施策と連携した取組みなどを中心に推進

【取組みの具体例】

- ①文化・芸術施設が相互連携した創造・表現・展示活動や情報発信の拡充（文化の杜イベント実施 等）
- ②まちの資源を活用した案内・交流機能の拡充（中央通りを活用したまちのイベント実施 等）
- ③上野恩賜公園とその周辺地域の回遊性を高める歩道空間の整備と活用（パンダ橋の活用 等）
- ④エリアマネジメント体制の構築と杜・まちの連携強化
（ルールづくり、共同イベント実施、共通案内板・ペナント設置、共通ロゴマーク作成 等）
- ⑤駅周辺における多様で質の高い持続可能な都市機能の導入（東上野 4 丁目 等）

- 中期（2030 年代）…本格的な事業推進に向けて実施すべき先行事業や、見本となるリーディングプロジェクトを中心に推進

- 長期（2040 年代）…将来像を実現する本格的なまちづくり事業を推進し、まちづくりの総仕上げを実施